

## 第6章

### おわりに

本研究においては、北九州地域におけるスポーツを通じた地域活性化について、ニューウェーブ北九州（2010年からギラヴァンツ北九州）と総合型地域スポーツクラブに着目し、地域に関わる様々な主体が連携した活動に向けた今後の展望等を考察するための基礎的な研究を行った。

スポーツを「する・みる」ことにより、体力の向上、生活習慣病の予防など心身の健康増進等の効果があることは言うまでもないが、これらの効果を地域活性化やまちづくりに結びつけ、相乗的な成果を挙げていくことは、少子高齢化が進展し市街地の再活性化が求められる社会において、今後一層重要になってくるものと執筆者一同は考えている。さらに、市民が主役の社会においては、地域として、総合型地域スポーツクラブやプロスポーツ等を様々な形で「支える」ことにより、新たなネットワークが地域社会に育ち、社会や経済の活性化も進んでいくものと考えられる。

本研究は、そうした構造の解明、あるいはそのような社会を形成するため地域を構成する各主体は具体的に何をすべきか体系的に提言する前段階として、焦点を絞った基礎的な研究として取り組んだものである。そのため、理論面が弱く体系的な提言にも至っていないが、それらは今後の研究課題としたいと考えている。ただし、具体的にいくつかの課題を示し、また今後のあり方を検討するための材料を示すことはできたのではないかと考える。

本研究で取り上げたニューウェーブ北九州は、2009年末に見事にサッカーJリーグ加盟を実現し、2010年3月に開幕したリーグ3戦目において、ホームスタジアムの本城陸上競技場でJリーグ初勝利を挙げた。市民、企業が中心となってスポーツを支える取り組みが北九州で着実に成果を挙げつつある一例と言える。この他、近年は北九州の学校・企業等のチームが野球などの全国大会で活躍、あるいは個人として世界レベルの大会で活躍するケースが再び増えつつある。また、様々な形で市民、企業、学校等が連携することによって、生涯スポーツも地域に根付き始めていると感ぜられる。今後、こうした動きを客観的に分析し、かつ今後の地域のあるべき姿や具体的方策の検討に結びつく研究に取り組んでいきたい。

最後に、シンポジウム「スポーツを通じた北九州地域の活性化」にご参加いただいた市民の皆様、および基調講演者、パネリストの皆様から心から御礼を申し上げる次第である。また、シンポジウムの開催および本研究全般の実施にあたっては、北九州商工会議所、北九州市企画文化局、株式会社ニューウェーブ北九州をはじめ、多くの方々の御支援・御協力をいただいた。2009年度の研究成果のみをもってお返しができなかったとは思えないが、今後さらに研究を深化させることにより、スポーツを通じた北九州地域の活性化に少しでも資する知見の提供や、具体的活動の展開に結びつけたいと考えており、ご容赦いただきたいと思います。

（本章の執筆責任者： 南 博）



写真1 ギラヴァンツ北九州Jリーグ初勝利時の歓喜の風景①（2010年3月21日、東京ヴェルディ戦、北九州市立本城陸上競技場ゴール裏席）



写真2 ギラヴァンツ北九州Jリーグ初勝利時の歓喜の風景②（2010年3月21日、東京ヴェルディ戦、北九州市立本城陸上競技場メインスタンド）